

令和2年度NPO萩まちじゅう博物館通常総会（報告）

令和2年5月29日午前10時から萩博物館講座室、体験学習室において、令和2年度NPO萩まちじゅう博物館通常総会が開催された。

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出席者を役員、役員候補者並びに各班の班長に限定し、そのほかの正会員については、委任状若しくは書面決議書の提出による議案決議への参加となった。

会議ではまず、議長に林康年氏を選出し、会員出席者32人、委任状提出者61人、書面決議書提出者34人で合計127人、5月29日現在の会員数が186人であり、定足数を満たしていることから、林議長が総会成立宣言して総会が始まった。

議事では、議案第1号 令和元年度事業報告について及び議案第2号 令和元年度活動決算報告について事務局から説明があり、全員（出席者、書面決議書提出者）意義なく原案のとおり承認された。

次に議案第3号 理事の選任については、まず役員選任規約第5条第1項で選出された理事候補者8名及び同規約第9条第7項の規定に基づき理事会から推薦のあった監事2名について提案があり、全員（出席者、書面決議書提出者）意義なく原案のとおり承認された。その後休会し、臨時理事会が開催され理事長並びに副理事長の互選の結果、理事長に田邊信氏、副理事長に高津英明氏が選出された。

再開後理事長から、同規約第4条第2項により2人の理事候補者指名があり、全員（出席者、書面決議書提出者）意義なく原案のとおり承認された。

次に議案第4号 令和2年度事業計画（案）について及び令和2年度活動予算（案）について、事務局から説明があり、全員（出席者、書面決議提出者）意義なく原案のとおり承認された。

以上5議案が承認され、令和2年度NPO萩まちじゅう博物館通常総会が終了した。

新役員 理事（役員候補者選挙において選任）

二宮勉 川久保忠人 田邊信 景由武彦 須子義久 高津英明 繁澤征夫
岡田久恵

（理事長指名者）

大槻洋二（萩博物館長） 藤田将一（まちじゅう博物館推進課長）

監事

伊藤彰啓 木原紀子

2年間よろしくお願いします。



共に歩む

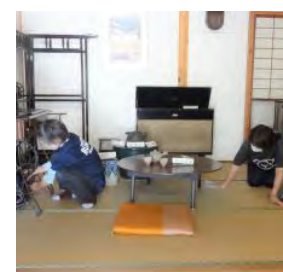
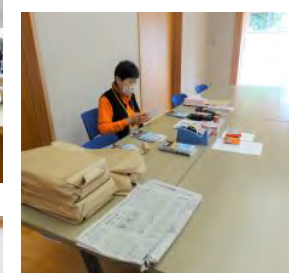


新型コロナウイルスの影響による 萩博物館休館中は再開にむけての準備を少しずつ行いました

できることを

3密を
避けながら

少しずつ！



感染対策をしながら がんばろう！

一緒に萩ジオパーク構想の推進を ⑬

with コロナ、after コロナにむけて

新型コロナウイルスという、目に見えないものにどう対処していくか、一人ひとりにこれまでとは違う生活様式での行動が求められています。

萩ジオパークは3月以降、コロナ禍で苦しむ地域や日本社会に向けて、ジオパークだからこそできる支援方法を試行錯誤してきました（<https://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/h32633.html>）。中でも、全国のジオパークで取り組んでいる、「ふるさと地球の絶景プロジェクト」（<https://sites.google.com/view/ourplanetearthproject/>）やジオパークの通販サイト「地球堂」（<https://www.geopark.shop/>）の立上げに萩ジオパークが協力しています。

また、これまで萩ジオパークでは、多くの地域のみなさまと共に、様々な講座やツアーを実施し、たくさんの皆様に楽しんでいただけてきました。しかし、コロナ禍の中、同じような企画を練り、プログラムへの参加を募ることが実施できない状況です。そこで、どんな状況下でも再び皆様に学びと遊びの体験を楽しんでいただけるよう、リモートによるガイドツアー『どこでもジオツアー』など、新たな手法のプログラムをご提供します。ぜひ、インターネットを利用できる環境を整え、参加してみませんか。お待ちしております。



「地球堂」トップページ



3月からの取組みの一つ
「萩ジオパークコラムカード」



NPO萩まち博 最新情報 ～一緒に活動してみませんか？～

- 5/29（金）令和2年度通常総会を行いました。
新型コロナウイルスの影響のため、少人数での開催となりました。

レストラン

新メニュー！



NEW! むつみ豚カレー

¥650（会員価格）

ミュージアムショップ

「萩ゆかりの人物データブック」新発売！

萩博物館に展示されている「萩ゆかりの人びと」の解説シートの内容にもとづき、近世（江戸）後期から近現代（明治・大正・昭和・平成）まで、萩市にゆかりのある人物（物故者）112名を「政治・軍事」「経済・産業」「教育・文化」「萩地域」別に紹介しています。人物の配列が生年月日順になっていますので、先頭から読むことで歴史の流れがよく分かります。夏期企画展「はぎ博夏期コレクション」ご観覧後にどうぞお立ち寄りくださいませ。（通信販売も行っております）



価格 ¥1,000

萩まちじゅう博物館シリーズ vol.14 ～活動団体編～

設立日：平成13年12月7日

初代会長（H13年12月～H28年6月）：山田神楽舞保存会 片岡 兼雄

2代会長（H28年6月～H30年6月）：上野神楽舞保存会 児玉 崇

現会長（H30年6月～現在）：香川津神楽舞 金崎 務

萩市伝統芸能
連絡協議会

平成13年、旧萩市内の神楽舞保存会等8団体が、山口きらら博に出演したことが発端となり、各団体相互の連携と交流を図ることを目的で会を設立した。

平成17年の合併を機に、旧町村部にも働きかけ新たに8団体が加盟し、現在は旧田万川小川地区から旧萩市の木間地区まで広域にわたり、15団体が構成されている。

以来、毎年11月に開催される萩ふるさとまつりでは、各地区の団体が一堂に会し、それぞれの伝統芸能を披露する「萩市伝統芸能フェスティバル」を萩市民館大ホールにおいて、継続的に隔年開催しており、今年で10回目を迎える。

また、各団体間で太鼓や笛等の囃子を教えるなどの演目復興に向けた協力や各地区の祭りへの相互出演協力など、各団体の交流、連携強化を図り、地域の伝統芸能の保存継承に努めている。

各団体とも小中高生をはじめとした若手後継者の育成や伝統芸能の保存継承に日々努力をしているが、近年の少子高齢化や若者の市外流出に伴う担い手不足は、伝統芸能の存続にとって喫緊の課題となっている。



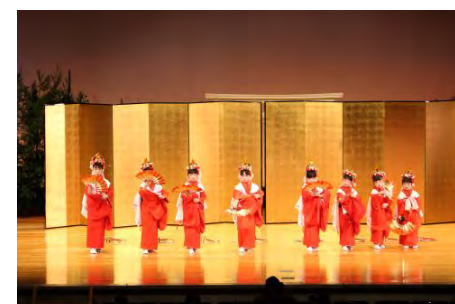
「赫い風」大板山たたら太鼓同好会
紫福大板山に残る、重要文化遺跡
「たたら製鉄」の歴史をテーマに創作
された太鼓



「天狗拍子」玉江浦天狗拍子保存会
玉江神社秋の大祭に奉納行事として行
う大漁祈願の踊り



「大蛇（オロチ）」むつみ神楽保存会
須佐之男命が出雲の国で、頭八つの大
蛇を退治する



「昇殿巫女の舞」越ケ浜郷土芸能保存会
萩藩二代藩主綱広の時、安芸厳島神社を
勧請、越ケ浜の池畔に建立。毎年旧暦
6/17 管弦祭で舞う。



「帯の舞」木間神代の舞保存会
神は帯や綱を伝って天から降りてくると
考えられ、昔は安産を願って、その家の
帯を使って舞うこともあった



「恵比須」長州神楽田原保存会
「恵比須」様の釣りの様子を神楽化した
もので「鯛」を釣り上げるという、大変
おめでたい演目